

ZOOM UP

福岡歯科大学



1992. No. 78



歯界展望

東京歯科大学千葉校舎の学監室。窓からは今を盛りと咲く桜の花が。

現在日本の歯科医療界で最も多忙な人、といわれる関根会長。白髪で温厚な紳士を思わせるが、理路整然と話す口調は、さすがは、と感じさせる。

昨年砂田前会長の突然のご逝去で、全員一致で日本歯科医学会、会員74,000人の会長にご就任。13ある専門分科会を統轄し、日歯会と一体となって、文字通り日本の歯科医学界の向上と発展を担っておられる。



日本歯科医学会会長
日本歯科医学教育学会会長

関根 弘 (ひろむ)

「急速な歯科医療の発展に伴い、各専門分野は益々高度化・高次元の研究へと進んで参りました。そのこと自体は非常に喜ばしいことですが、一方そうした縦わりの研究はともすれば自己の分野内だけにとどまり、横とのつながりが疎かになっているくらいが生じています。これを総合的に組合せ、横と縦を絡み合わせながら、時代の要求する臨床に役立つ適切な歯科医学を考える。それがこん日の歯科医学会の役目だと考えます」。「第二は、国際的見地に立って研究されたそうした成果を日歯会と一体となって、国民のヘルスケアを考えながら、臨床医へはむろんのこと各大学への教育にも波及させ、より効率的な学問を推し進めていくことです」——現在の保険制度の在り方、延いては報酬評価について

は？「過日NHKの放映で皆さんもご覧になったでしょうが、決して良くはありません。本会としましては、日歯会と共に、現財政下の中で歯科医療費の報酬が正当に評価されているかを、学問的に説明した上で、行政に働きかけ、少しでも早く改善につなげていきたいと思っております。それには基本的に、国民に真の実態を話すことによって国民の理解や合意、そしてパワーを得ることが大切です。高齢化社会を迎え、国民1人1人が自身の健康を維持するには、身体のメカニズムやセルフ・ケアの必要性、その方法等について、素人にもよくわかるよう説明し、治療の内容

によってはお金が必要であることをも認識させることが大事であると思います。今日、明日も大切ですが、目先だけにとらわれず、中・長期的展望に立ち、目的を持って改善の努力をすることが、現状では最も大切なことだと思います。治療内容に見合う負担、それが以後の自身の健康維持につながるこの意識を患者一人一人に持ってもらうこと。又、その自動調節機構として、民間保険の導入も、と。「そのためには歯科医師自身の勉強も大切で、不適切な人には、切開手術も必要です。」と強い決意も述べられる。

昭和2年、開業医の長男として宮崎県に生まれる。鹿児島市の旧制七高より、戦後大学に昇格した東京歯科大学へ、学部編入試験を受け入学。ちなみにお父様も東京歯科大学の前身、東京歯科医専を大正13年に卒業され九州で開業されたという大先輩。男のご兄弟3人の内、ご次男はやはり東京歯科大学卒、3男は東京医科歯科大学卒という歯科医師一家。会長はその後元東京歯科大学学長であられた故関根永滋先生の女婿となる。「七高の理乙科に入りましたので、当然医科に進むとあきらめていた父が、自分の母校に入ってくれたと喜びましてね。卒業後は自分といっしょに仕事をしてくれると思っていましたようですが、私が大学に残ったものですからがっかりしていたようですよ(笑)」。壁にはご自身で描かれた水彩画と「歯全而寿」の筆文字が。

「歯が健全ならば命長し、の意味で、私の好きな言葉なんです。専門は補綴ですが、義歯の在り方によって、人は精神を含めた健康

的な生活を送れるわけです。大学生生活の前半はそうした方向を目指し、後半は高齢化社会を迎え、口腔機能を通して身体全体や社会生活を総合的に考えるということに研究・教育の目標が変わりました。学生時代に歯学を選び、歩んで来た道は自分なりにやれることをやり悔いはありません。——日本歯科医学教育学会会長の立場から「ご存知のように昨年7月、大学の設置基準が変わり、従来の教育カリキュラムを各大学が今後は自由に判断し進めることが出来るようになりました。従って教育も卒業後研修を含め、先程言いましたように、各分科会が横のつながりを密にし、総合的に人間生活を診る方向へと推進、教育して行かねばならないと思っております。ホーム・ドクターという言葉がありますが、臨床医にとっては1人の患者の口腔状態を長く診ることによって、その状態を的確に判断し、予防と治療を進め、もし自分では無理な場合は適切な病院・専門家へ逸早く紹介し、自院の患者の健康を守っていくこと。それが真のホーム・ドクターのあるべき姿だと思います。今は残念ながら、そうした説明、管理が不十分なために、患者が自分で判断し、渡り鳥のごとく歯科医院を回っている。8020運動が展開されておりますが、現在は平均40才位で半分の歯を失っています。人生80年という長丁場、その後の人の臓器を含めた健康の鍵を握っているのが歯科医師とも云えるのです」。

人の幸福とは何か？ その中で果たすべき歯科医師の真の姿とは？ 保険、過剰、教育等、歯科界には数々の問題が山積みされているとはいうものの、医師一人一人が、まず自院の患者さん一人一人の健康と生活を、歯を通して真剣に守るのだという意識が、現状を打開する道であることを知らされた、今回の取材でした。

●略歴

- 昭和2年8月 宮崎県に生まれる
- 昭和28年3月 東京歯科大学卒業
- 昭和35年3月 医学博士の学位受領
- 昭和41年8月 東京歯科大学教授(歯科補綴学第三講座主任)
- 昭和51年4月 医療関係者審議会歯科医師部会長
- 昭和57年8月 日本歯科医師会生涯研修委員会委員長
- 昭和60年4月 日本補綴歯科学会会長
- 昭和61年6月 東京歯科大学学監
- 昭和62年4月 日本歯科医学教育学会会長
- 平成2年4月 医療関係者審議会歯科医師部会長
- 平成4年1月 日本歯科医学会会長

わが校を語る

福岡歯科大学

学長
石木哲夫



■プロフィール

- 1947. 3. 東京医学歯学専門学校卒業
- 1951. 12. 東京医科歯科大学助手
- 1957. 8. 青梅市立総合病院 病理検査室長及び
歯科長
- 1966. 12. 東京医科歯科大学助教授
- 1967. 5. 新潟大学教授(口腔病理学)
- 1990. 3. 新潟大学名誉教授
- 4. 日本歯科大学(新潟歯学部)教授
- 1991. 2. 福岡歯科大学学長

市街地より車でおよそ40分。後面には緑豊かな背振山系の山並みが、前面は福岡平野から福岡湾へと続く郊外地。設立当時はおそらく一面田園地帯で、交通の便や日用品の買物等、多少不便なところもあったであろうが、現在はモダンな家々が立ち並び、静かな住宅街を形成する絶好の環境下にある。

南国の青空に輝く白一色の建物は、本館と呼ばれる9階建の校舎とそれを囲むようにして作られた付属病院、体育館、更に広いグラウンドを挟んで、教養棟および付属歯科衛生士専門学校が、広大な敷地の中にゆったりと建っている。

「当大学は今年10月3日、創立20周年を迎えます。巣立っていった同窓生も昨年までで既に1849名。県内を中心に九州全域、中・四国はもとより、更に近畿、中部、関東にも同窓会支部が結成されておりまして、それぞれの地域の中で中堅医師として活躍、一角を担うまでになりました。当大学の設立動機は昭和45年頃、当時、それまでありました九州歯科大学と新設の九大歯学部を合わせて160名の入学定員では、時代の要求には応じられないと、九州歯科大学同窓会と九州地区連合歯科医師会及びそれぞれ関連の西日本方面の各県の歯科医師が中心となり設立されました。設立時、多少紆余曲折もありましたが、県副知事であられた現三宅理事長が就任することにより、その高い理想と熱意で、こん日素晴らしい大学として成長することが出来ました」。明るく柔和でザックバランなお話しぶりは、当方に多少の偏見はあるかも知れないが、固いイメージの国立出身者とは思えない親しみを感じさせる。その辺り——国立の学生と私立の学生。違いはありますか？「うーん、難しいな(笑)。お互いにそれぞれ特長がありますし、個々によっても違いがありますので一概には云えませんが…。私立の学生の方が一般的にコミュニケーションというか、患者さんなどと接する仕事には向いているように感じますね。

もちろん国立でも今後は色々と考えて行くでしょうが、医師が一段高いところから患者さんを見て、黙って俺の云うことを聞け式ではもう通用しない時代になりました。アメリカでも、医療は軍隊などと同じサービスに属す職業です。こうした根本を、育ち・環境からかわかりませんが性格的に備えている学生が、私立には概して多いです。多いように思えます」。

お生まれは東京・渋谷、開業医の長男として育つ。空襲で医院は焼失。お父様は医療団の病院勤務で群馬県伊勢崎市に移住。

「お茶の水を卒業後、医科歯科大学に残って勉強しておりましたが、それまでスネをカジッていた父が倒れたため青梅に新設の総合病院に転出させていただき、半日は専門の病理学の業務、半日は臨床医をやりました。これは大変勉強になりました。その後新設の新潟大学歯学部に移り、そこで定年のあと、日歯大から更に当地へ。雪国から南国へと移って参りましたが、住めば都で、今後の私立歯科大学の経営は、という難しい時に来てはいるものの、住み心地はいいですよ(笑)」。

——その福岡歯科大学の方向、方針は？「三宅理事長が常々云われておりますが、——教養と良識を備えた有能な歯科医師を育成し、社会福祉に貢献するとともに、歯科医学の進展に寄与する、ということです。歯科医は技術も大切なことですが、自身のおかれた社会的地位を自覚し、責任を持った言動を。中で最も大切なことはまず人間性を磨くことではないでしょうか。当大学でも新しい“高等教育の改善”にかかわる新カリキュラムの検討を毎週やっておりますが、近未来の歯科医療の発展、変貌は？ 6年間の教育の中で最善の歯科医療の教育をするためには？ 社会に信頼されアピールする大学とは？ 国際化については？ 等、一つ一つに難しい問題が含まれています。昔、明治の頃、耳鼻や歯科も含めた“口中医”という資格があったと本で読みましたが、今後は全身を管理する歯科医師、その為には隣接医学の勉強



もし、咬合が与える顎関節から頭脳への影響、近頃では背骨にも変化が出て来る、も重要です。そうした歯科医師の養成と責任を考える時、現在は別々になっている医師と歯科医が、将来“口腔科医”という名で医師と同じになっていく可能性があります。以前に較べ数層倍の勉強が必要となりましたが、こうした背景、使命を考えます時、6年間の教育期間ではとても無理で、大学ではそうした考え方の基礎作りをキチッと教え、卒業後研修から、更に生涯研修への心構えに道をつける一環した教育を、と考えています」。

——ご専門の口腔病理学については「米国にいた当時感じたことですが、向うでは広範な地域の臨床医から症例や報告が大学にどんどん送られて来るといふ臨床なのですが、日本ではほとんど大学外から送られて来ない。従って病理の研究は実験病理が主になってしましますが、現在の科学レベルではそれだけでは生きた人間の研究にはならない場合が少なくない。近年、CTやMRなどでの生体内の診断が進歩してきておりますが、もっと大学という公共の場を利用して欲しいですね。近年盛んに施されているインプラントについては「人間に人工補綴物を入れ機能を回復させる、という方法は、医科で人工臓器その他を入れるより、ずっと古いわけで、歯科の方がむしろ先駆者なのです。歯や顎のかわりに人工物——インプラントを入れることは、それに代わるものがない今は必要なことではないでしょうか。施す歯科医師の技術力や方法に課題は残るとはいうものの、インプラントそのものは今の時代の中では必要だと思えますね。さわらずじまいでは、進歩がありませんし、遅くなってしまう。何事においてもそうでしょうが、自然科学ですべてが解明できていない今日、考えることを精一杯やるのが大切なのではないのでしょうか。」

学長ご就任以来1年半。九州の水にもすっかり馴染み、難問にも真正面から取り組んで行こうと云う気迫が窺える石木学長。今年67才である。

社団法人

福島県歯科医師会



会 長／佐藤 宏
 副 会 長／須藤 正和
 副 会 長／板倉 克良
 副 会 長／小汲 喜郎
 専務理事／斎藤 浩
 常務理事／鈴木 信夫
 常務理事／五代儀 昭
 常務理事／佐久間崇之
 常務理事／坂本 博司
 理 事／鈴木与志昭
 理 事／菊池 久利
 理 事／佐藤 斌宏
 理 事／小汲三代太
 理 事／金子 振
 理 事／鈴木 洋
 監 事／鈴木 秀次
 監 事／桑原 英雄
 監 事／大柳 次男

JR福島駅より駅前商店街を抜け、中央公園にほど近い静かな住宅街に建つ県歯会館。付近には旧城下町らしく、町名も陣馬町、置場町、また県庁所在地は約800年前に杉妻太郎が築城したことから呼ばれているのであろう、杉妻町の名が見られる。

会館は奥行き長い白の3階建て、県歯会館としてはさほど大きくはないが、広い敷地とゆったりととられた駐車場を有し、県下会員850名の歯科医を統轄する建物にふさわしい、清潔なイメージを与えている。

会議室には歴代の会長の顔写真が飾られている。昨年4月1日新執行部となられた佐藤会長は数えて38代目。福島県歯科医師会の歴史の長さを感じさせる。また、会長は就任以前は同会の専務理事を12年、常務理事その他の役職を昭和42年から続けられたと云われるから、県歯会員に与えられたその功績は特筆されるべきものがある。

その歩みを交えながら、会長以下5名の役員の方々に、それぞれの担当業務と現在の活躍状況を語って頂いた。

会長：当県は人口およそ211万人を、会員約850人と奥羽大学、県立医科大学等でカバーしております。が、ご存知のように

会
長
／
佐
藤
宏



当県は東西約150km、南北約100kmに及び、北海道、岩手に続く、わが国第3位の広大な面積を有する県ですので、全会員を一括して指導するというのは難しいですね。気候も、太平洋に面する浜通り、東北本線を中心にした中通り、いまだ雪が残る会津地方と、それぞれ全く違うし、そうした環境下から住民の性格も異なりますから、その実情に合わせ——現在13の地域歯科医師会がありますが——活動を実施するようにしております。現在の活動状況は、昭和42年から始めました「歯科巡回車」。昔と違って今は交通網も歯科医師数も充実して参りましたので、以前ほど切実ではありませんが、若い会員の育成や医療という目的、主旨に沿って、今年も実施しております。その過疎地歯科医療に変わって要望が強くなって参りました、寝たきり老人の在宅歯科診療問題。3年前から県当局が実態調査をし、今年2市・1町から訪問歯科診療を始めます。県下には約5,000人の寝たきり老人がおられるということで、3～4年後を目処に90の市町村全域の歯科医師会とタイアップしてやらねばと思っています。待っていた歯科診療から、外部に積極的に働きかけ、地域の人々に奉仕する診療へと、我々も変わらねばならないし、そうした姿勢が人々に理解されることにより、今後の歯科医療が発展へと導かれると考えています。幸い当県は会員間、又住民とのトラブルもほとんどありません。その点は自慢出来ますし、恵まれた県だと思っています。

その他個々の活動状況の詳細はそれぞれの担当の役員に語って頂きましょう。

須藤副会長：私は社会保険と広報の活動状況を。社会保険につきましては今年4月より診療方式に多少アップがありました

が、過日NHKでも放映がありましたように？ の実情です(笑)。活動の状況は、県下13の地域にそれぞれの担当理事が行きまして、厚生省の伝達事項の徹底を指導しております。又、年1回ですが、各個の医院の事務員の方の講習会を開催し、現場で働く方達の為に研修会をやっております。

副
会
長
／
須
藤
正
和



また、昨年6月9日「今後の歯科医療について」と題し、厚生省、医師会、前日歯副会長の3名の方々に会員一同の講演を依頼、好評のようでしたから今後も続けて参りたいと思っております。さらに月1回発行の福歯会報——取材から編集、校正まで県下の2つの新聞社より指導を仰ぎ発行しておりますが、他県からも良い会報だと賞賛されております。

副
会
長
／
板
倉
克
良



板倉副会長：私は医療管理と厚生方面を。

医療管理の最も大きな活動は、歯科助手の養成を目的とした「歯科助手認定講習会」を県下4ヶ所講師を決め実施していることです。又それによって認定された助手は、日進月歩の医療実情に合わせ、毎年補習授業に出席させ、より高度な知識を習得させるようにしております。昭和46年から、毎年平均200名位に認定証を授与しておりますが、助手不足の折柄好評です。

福利厚生は毎年70才以上になられた会員の方々の功労を感謝する「敬老頌徳会」の実施。古希を記念し慶祝金を5万円贈

呈しております。共済制度としましては、死亡時100万円、入院1日1万、在宅5万円を120日を限度として給付しております。その他、野球大会、ゴルフ大会、剣道大会の実施など、毎年150～250名程集まり盛大に催しておりますが、とかく籠もりがちな我々の職業。会員の方々には評判が良いようです。



副会長／小汲喜郎

小汲副会長：私は学術と公衆衛生を担当しておりますのでそのお話を。

学術部の大きなイベントは、年3回全会員を対象に当会館で開催する学術研修会(うち1回は、会員の研究発表会と併催ですが)と日歯との共催の歯学研修セミナーです。

学術学会の演題及び講師の選定に頭を悩まします。学術委員会での希望に出来るだけ沿うように努めております。

会員発表会は所謂学術論文的な事柄ではなく、すべて自分の診療室での最近の臨床例や調査報告であり、会員にとって最も有意義な学術研修の場、機会であると思っております。

外に、県内4方部に分けて、夫々の独自性で行う、方部歯科医学会があります。また、現在本会が把握しております、

研修グループが14あり、各々研究テーマをもって活発に研修活動を行っておりますが、各グループ間の情報交換、交流によって更なる成果を期すため、本会がその労をとらなければと思っているところです。

公衆衛生部門におきましては、8020運動に象徴されるように、いま高齢化社会と相まってクオリティ・オブ・ライフという観点から、歯科保健事業はますます地域社会の大きな課題と成ってきております。随って事業所歯科保健、母子保健、学校歯科保健等、公衆衛生活動は、すべて行政との深いかわりが必要で、在宅寝たきり老人歯科保健医療事業が、万全の体制で平成4年度から実施のはこびとなり、また昨年9月に本県で開催されたむし歯予防推進指定校協議会、学校歯科保健研究協議会が大成功裡に終わることが出来たのは、夫々の担当理事が県の関係当局との緊密な連携の基での熱意と努力の結果であります。

本会の事業を進めるにあたっては、歴代の担当の役員が一步一步地道に築いた努力によって出来た立派な軌道があります。

先人に感謝申し上げると共に、更に時代に合わせた良いものをと、会員のため、ひいては県民のために、相はかっていきたいと願っております。

斎藤専務理事：私の役目は、会長を補佐し、多方面から、会員と県民の双方の立場に立って物事を判断、処理するのが役目だと思っております。県民性は派手さがな



専務理事／斎藤 浩

く忍耐強い性格を備えておりますので、今までは訴訟問題などほとんど起こってはおりませんが、交通網の発達や時代の風潮から、今後は今までにはない多種多様な問題も起こると想定されます。会長は将来を、私は現在を、の気持ちで一つ一つの問題を会員と県民の為に精一杯努力して行きたいと思っております。

会長：明治45年4月、13名から発足した当会が、今年80周年を迎えますので、日歯提唱の8020運動にかけて、80才で20本天然歯を持つ方々を表彰しようという事業を進めております。歯科医師の環境・状況も年々厳しくなっておりますが、先に云いましたように、今後は私達1人1人が外部に目を向け、住民からその努力・奉仕・貢献の精神に感謝されるようにならなければなりません。会は支援を吝まないが、まず、会員自らが、考え、勉強し、自立していくこと。そうした個々の努力、姿勢が世間に認められ、何時かそれが当業界にはね返ってくるものと考えてます。内部であれこれ騒ぐより、まず世間にその貢献度を知ってもらい、声をあげてもらおうこと。地道ですが、それがいまは最も大切なことだと思っております。





北村歯科医院

大阪府羽曳野市高鷲4-4-4

院長 北村康夫





大阪・阿部野橋から近鉄南大阪線に乗るとおよそ15分で近鉄のホーム球場で名高い藤井寺駅に着く。ご紹介の北村歯科医院は駅から4～500m、商店街を折れた静かな住宅街にある。斜め前は仲哀天皇の古墳とそれを囲む濠が広大な森となって今も残る、抜群な医院環境である。

医院外観は、黒い三角屋根にグレーの外壁、花壇に囲まれたエクステリアは、一見しゃれたペンション風。付近の建物と良く調和がとれている。

半円状に作られた靴脱ぎ場から待合室へ。床、ドア、窓枠は木目材を使用。天井は白のスレート。中央にやや大き目の空調機が取り付けられている。待合用椅子はクッションの入った濃グレーと簡易予備椅子を設置。

モダンな中にもシックな落ち着きを漂わしている。

診療室は、床はグレーのビニタイル、天井、壁は待合室と同色同材を使用。室の角面を利用し、入口から窓に向かって3方向に、それぞれキャビネット付きのセパレーションで区切られている。室内色は黒、白、グレーのモノトーンでまとめ、都会の成人層好みの色に仕上げている。濃淡グレーのスマイリー〈ファイン〉S型2台とL型1台のユニット前面からは出窓を通して古墳の森が、良い借景となってスタッフと患者さんの目を休ませている。

院長は昭和47年、大阪大学歯学部をご卒業。

そのまま鳥取大学口腔外科に勤務。2年後、鳥取、広島、岡山県が隣接する中国山地の麓、日南町立診療所に歯科が新設されたことから派遣され2年間。その後更に、今度は日本海に浮かぶ隠岐の島へ。島前の浦郷町立診療所歯科で1年の勤務医生活を送った後、昭和52年、ここ羽曳野市に戻り開業。5年の勤務医のほとんどを公立病院で過ごされたという、珍しい経歴の院長である。

Q：大変な面も多かったでしょうが、良い経験をされましたね。

院長：ええ、特に鳥大の頃、給料6万では結婚もしていたし、食えないものですから週2～3回、境港にある開業医のところまでアルバイトをさせてもらいました。その院長——足立丕(ハジメ)先生という方なのですが、歯科医師の診療姿勢から始まり、歯周疾患や歯内療法・補綴まで、色々と勉強させて頂きました。私の今日ある恩師の一人です。

Q：歯科を志された動機は？

院長：父はこの近くで薬局をやっておりますが、とにかくサラリーマンはやめとけと(笑)。

Q：で、今は？

院長：近頃思うのですが、歯科はやはり特殊ですね。診断そのものは難しいことではありませんが、その後、治療は全部自分で手掛けなければなりません。そしてそ

の処置如何でその患者の口腔状態、ひいては健康につながる総てが左右されるのです。恩師は、歯医者には八百屋さんだ、何でもしなければならぬ、と云われていましたが、それには長い年月が必要。考えれば大変な職業だと思います。ただ、体はシンドイが、私にとっては好きな職業です。

Q：以前の建物をたった13年で壊し、一昨年11月新築されたとか。何故ですか？

院長：それまでは住居と診療所が一緒だったんですが、ユニットも古くなったし、この際思い切って建て替えようかと…。今までの蓄えを総て吐き出し(笑)一年半かけて企画、0から再出発の思いです。でもこの医院環境が病む患者さんに少しでも還元出来れば、と思っております。

Q：ご留意された点は？

院長：友人に設計士がおりましたので、何でも相談。心掛けたのは、医院らしくない遊び心のあるイメージの歯科医院を、ということです。付近の環境、天皇の古墳の景色。ご老人の患者さんも多いことから、入って来やすいような建物と空間の提供。更に効率的で無駄のないスタッフの動線等、時間をかけて検討しました。

Q：スタッフ構成は？

院長：私と衛生士1名、助手1名、受付1名、技工士1名の総勢5名です。

Q：スタッフの勉強会等は？



院長：新しく入った場合は必要かも知れませんが、技工士以外はほとんど10年近い方ばかりで…。今は特別にはやっておりません。自然な感じで、自身で考え働いておりますし、評判も悪くないので、あえて押しつける感じはさけております。

Q：ご自身は？

院長：気晴らしかな(笑)、東京へは時々行きます。治療には色々テクニックが分かれていますから、自分の殻になるべく閉じこもらない様にと、他校の研修会に出席するように心掛けております。

Q：インプラントについては？

院長：初めの頃、京セラから出した材料で数症例やりましたが、インプラントは片手間では決して出来ない治療です。しかし今の患者さんを治療した上でやるとなると、自分の休み時間や休日を利用するしかありませんし、それを犠牲にすることは嫌ですから(笑)。又、まだ実績がすくないことから自分が不安を抱きつつ治療することは出来ません。現在その他の処置方法がありますので、わかることでやろうと…。最近ではやっておりません。

Q：歯科医師の使命は？

院長：医師に比べ、歯科は人の命にすぐかわる処置はめったにありません。クオリティ・オブ・ライフという言葉がありますが、人生80年時代を迎え、そうした高齢者がより良い日常生活を送るために精

一杯手助けをするのが、我々歯科医の使命だと思っております。私も遊びは大好きでたのしい人生を送りたいと思っておりますから、患者さんにもたのしい日々を、と。共に生活の質の向上を目指して行きたいと思っております。

Q：患者数は1日どの位ですか？

院長：平均40人弱ぐらいですね。でも40人前後の患者数ですと内容にもよりますが、ほとんど休むことなく働かねばなりません。代診のことも考えますが、考え方、処置方法も個々で違いますし、私の心の問題でしょうが、親子でも難しいと云わ

れている今日、その気にはなれません。60才まで働くとして、あと15年。体力がもつかなと心配です(笑)。1日20人位が、まともな数だと思いますが、経営面で難しくなってしまう。ハイ！歯科医の診療報酬は低いとハッキリ云えます(笑)。

Q：オサダの<フライン>、ご使用感は？

院長：歯内療法に必要なエナックを買ったのがオサダさんとのつき合い始めです。今回<フライン>を買いましたのは、形も良いし、エナックが総て内蔵されているので…。気にいったからです。今は快適に使わせてもらっておりますよ。



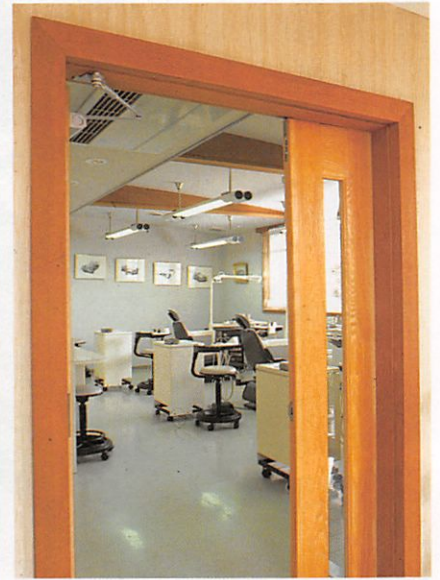


助川歯科医院

茨城県水戸市上水戸1-11-7

院長 助川 洋





JR水戸駅より、ビルが林立する国道50号線を西南に向かっておよそ10分。右に曲がって、国立水戸病院から4~500m。静かな住宅街に沿って、個人病院ではあるがかなりの病床を有すると思われる外科病院、産婦人科病院が建っている。ご紹介の助川歯科医院はその隣り、ご実家の広い敷地の角地に、青年医師らしい若々しい感覚の2階建ての建物。しゃれたブルーの梯形の看板には、「デンタル・テクニカ・スケガワ歯科医院」の文字が。

前面は3~4台可能な駐車場。側面から玄関アプローチへ、段差の低い階段が7~8段続いている。玄関ドアは2m巾ほどの広い木目材を使用。

待合室はグレーの床に、壁は白木、天井はクロス模様。受付台と室内の梁、診療室の入口ドアには玄関同様、木目材を使って、清潔感と柔らかさ、その双方を巧みに演出している。

診療室は、コの字型に作られ、窓に沿って濃淡グレーのスマイリー〈ファインL型〉が並列に3台。ユニット背面壁は消毒器棚、手洗い。左側面は、受付、X線室、右側面からは医局、技工室へと続く。左右の壁には車のイラストが5~6点飾られている。

際立った特徴はないが、天井も高く、解放感があって、飽きのこない診療室に仕上げている。

院長は昭和59年、日本大学松戸歯学部を卒業。卒後は医局に残り口腔外科を研修。その後、茨城県心身障害者小児治療センターと先

程お知らせした国立水戸病院歯科口腔外科でおよそ5年間、臨床の勉強をされた後、一昨年9月、生まれ育った此処、上水戸町に戻り開業された。

院長が“スタッフには恵まれました”と云われるよう、若々しい明るさとやる気充分の雰囲気か漂う、爽やかな印象の診療室である。

Q：国立病院や心身障害者センター等、特殊ですが、又違った良い経験をされたね。

院長：ええ、特にセンターでの治療は、初めは相手の痛みの訴え方さえわかりませんでしたので苦労しました。しかしやっていく内に、言葉以外の、お互いの信頼感が芽生え、そうしますと意志の疎通も上手く行き、相手の訴えがわかるようになるのです。また、国立病院では他に疾患をかかえておられる患者さん等、一般の治療以外に色々学ぶことが出来まして、非常に良い勉強になりました。

Q：で、ここではそうした方々の治療も？

院長：私もスタッフもそうした方々の治療は出来るのですが、他の一般患者さんがこだわるといえるのか、気を使われるので、希望をされる方以外はあまり多くやってはおりません。今日も早朝1人ありまして1時間ほどかけてやりましたが、いつでも自由に、と云うのは未だちょっと難しいですね。

Q：患者層、患者数は1日どの位ですか？

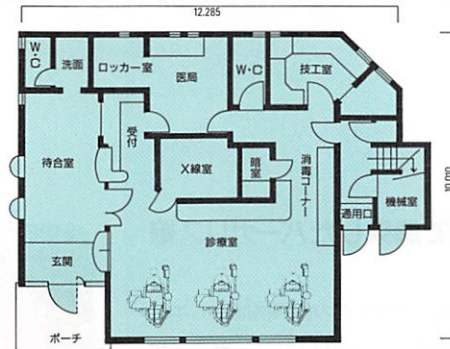
院長：1日約35人前後です。層は近くの商店街の方々、アパート・団地の住人、学校も多いので、その学生、そして近くの病院の入院患者さんや付き添いの方等です。20代~40代の若い方が圧倒的に多いのですが、先程云いましたように他に疾患を持った方々の治療は自分でも怖いし、気を使います。国立病院には連絡をよくして診療しております。

Q：いまスタッフは？

院長：私と衛生士2人、助手1人、保険等がわかる受付1人、技工士1人、計6名です。スタッフには恵まれ助かっております。

Q：ご自身の勉強、又、スタッフの方々は？

院長：大学で同窓生のグループの方々とは月1回集まり、色々な勉強をしております。その他近くの先生方との集まりや各地で開かれる勉強会や講義には出来る限り出席するようにしています。特に同時代の先生方は集まればすぐ治療内容の話ばかりですので、刺激もあるし、良い勉強になりますね。スタッフの勉強は、国立病院や障害者センターに、双方の時間が丁度あいた時に行って、勉強してもらっています。特にオペ室に入れてもらい、消毒器材の取扱い勉強などを主に学んでいます。当院は私の経験から、器材については、1つ1つ完全密封の袋に入れ滅菌。消毒には万全でありたいと思っていますので。技工士も東京などで開かれる研修・勉強会等に出来るだけ行



ってもらい、新しい技術を身につけて欲しいと思っています。私もスタッフも中(院内)にこもらないで、機会をとらえ多方面から色々な良い刺激を受け、それを患者さんに還元して行けたら、と思っております。

Q：インプラントについては？

院長：まだまだ勉強、研究段階ですので、私のところでは今のところまだやっておりません。もう少ししっかり確立されてから、と思っております。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：私が設計士に頼んだ点は、天井を高くして患者さんも私達も圧迫感のない開放的な診療室を、ということです。パーティションをなくしたことは、麻酔などをやっている時、一目で全部が見渡せることが必要と思ったからです。全体的にはほぼ満足に仕上がったと思っています。

Q：では全く問題ない？

院長：うーん(笑)。ただ2階に私の部屋——院長室を作ったのですが、結局日中は全く利用出来ませんね。もう一部屋一階に作っておけば良かったと思っています。

Q：ご趣味は？車の絵が診療室に多いようですが。

院長：祖父、父と車の歴史が好きでして、もの心ついた時から私も絵本は車でした。車が現代のようにツールでなかった時代のもの、それを体系づけて考えることが

好きなんです。イラストや本、カタログ、雑誌等、8帖の部屋にギッシリ一杯つまっています(笑)。

Q：オサダの〈フライン〉をどうして選ばれたのですか？

院長：勤務、バイト先などでオサダのユニットが一番馴染んだので、開業時はオサダと決めていました。ただ〈フライン〉はちょっと私には高かったので諦めていたんですが、ショールームに行き見ましたら、形も良く、消毒方法も楽で、エナックも内蔵されている。帰って来てもどうしても頭から離れず…。他を多少削っても、と最終で決めました。故障も少なく、

アフターも良いと聞いていますから、今は良かったと思っています。

Q：アピットについては？

院長：もともと工学部を目指し、機械いじりが好きでしたから、自分でも作ったり、他のメーカーの物も使ってみました…アピットは群を抜いてます。扱いも楽で毎日使っております。

Q：最後に知人、友人の方々に何か？

院長：なかなかスケジュールが合わなくて会えないが、とにかく地域の方々のホームドクターになるべく頑張っています。皆さんも身体に気をつけて頑張って下さい。

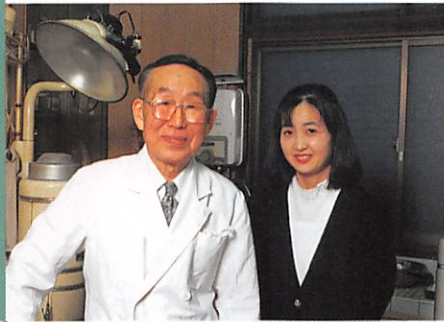


オサダの商品
〈お元気ですか〉

平田歯科医院

岡山市清輝本町1-26

院長 平田孝雄



岡山駅より南北に走る国道30号線をおよそ10分。ご紹介の平田歯科医院はその車の往来のはげしい国道筋にある。ご開業時はおそらく駅から至便な落ち着いた住宅街であったであろうが、市の大発展と車社会の到来で、医院にしておくにはもったいないぐらいの周辺環境となっている。

ご出身は此处より10数キロ、岡山と備前市のほぼ中間地にある、名刀の産出地として名高い長船町。歯科医師の8人兄妹の3男として生まれ、昭和12年に現日本歯科大学をご卒業。ちなみに、院長より下のご兄妹5人は総て歯科医になられたという歯科医師一家。現在ご実家は弟さんか継がれていると云う。「兄妹5人、更にその子供達、嫁ぎ先、甥姪を加えますと、親戚筋だけで40人近い歯医者がいるのではないのでしょうか」とおっしゃる。亡くなられたお父様もさぞ本望なことであろう。「大学を卒業し、父のもとで5年ほど修業した後、岡山駅近くで開業しましたが、戦災で丸焼け。昭和21年再び市中心部で開業しましたが、ビルを建設すると云うことで、臨時のつもりで此处へ移って来ましたが…。そのまま、もう30年近くなりました」と笑われる。振り返って「戦後は3人の子供達(ご長男・歯科開業医、ご次男・整形外科医、ご長女・歯科医に嫁ぐ)を育てたり、県の副会長や社会保険審査委員などをやったりで…。夢中で歩いて来たので、あっという間というのが実感ですね。「その社会保険審査委員当時に、保険医総辞退問題が起りましたね。皆んなファイトがありました。もともと戦前の保険は低所得者を救済するためにあったものですが、それが敗戦後国策として医師の経済的犠牲によって皆保険となり、歯科医師の報酬が極端に低く押さえられ、そのままの姿で現在に至っているのです。昔の話になりますか戦前、戦時中を通じ、当時散髪代が30銭、その頃歯科における健保の報酬で



も大白歯の抜歯は1円以上、およそ現在の保険は当時の保険報酬の1/4になっているんです。当時は1日15人位の患者さんで充分経営が成り立っていたんです。でも今の医療保険の報酬でこの人数ではとても医院の経営は成り立ちません。乱診があっても不思議ではないと思います。これは国民の認識不足と政治家が歯科医療に対しての甘えと基本的重要さの理解がないのが原因です。経済大国を自負しているが矢張り欧米と比較して後進国の域を出ていない姿です。」ゆつたりと温厚そうなお顔からは、当時闘争のリーダーとして戦った面影は想像できない。「今はもう年齢ですから(笑)、1日10人位、昔からの患者さんをゆっくり診ています。この年になっても社会の為に役立つ自分の仕事を持っている事、歯医者になって良かった、と思いますよ。——健康の秘訣は?「第一に暴飲暴食はしないことです。タバコも2年前にやめました。えっ! 2年前、20年の誤りではないんですか? 「ええ、私の場合タバコはあまり健康には関係ないみたいですね(笑)。今、日歯会で8020運動をやっていますが、私

は数え年で80才ですがまだ26本、自分の歯がありますし義歯のお世話になっていません。細かい仕事でも、目も手も全く支障をきたさない。毎日患者さんと向き合うのがたのしみなんですよ。診療室には9年前にご購入頂いたスマイリーNと、何と1960年製の〈ジュニア〉ユニットが…。扇風機と側面にはジャバラ式のカーテンが取り付けられている。患者さんの為にパーティション、間仕切りと、仰々しく呼ばなくても、口腔内を他人の目線からかくす、という意味ならこれで充分。当社の商品ながら、よく考えられている、と感心。「よく故障もなく働いてくれていますね(笑)。開業以来このチェアには30万人の患者さんが座った計算になります。これは岡山市の人口のほぼ半数なんです。自分ながら、よう飽きもせずやりおった(笑)、と思いますね。でもこうなると、このユニットが可愛くなりましたね。離せなくなりました(笑)。お世辞ではなく、オサダさんからいつも“故障はありませんか”と電話をもらうんですが、全くないから云うこともなくて…。——若い先生方をご覧になって「今の若い方は、私達の頃に比べ卒後研修の機会が出来てよく勉強されています。昔は基礎医学に力を入れて教育しておりましたが、今は内容も細分化され、従って開業医の勉強は広範囲に及び大変になりました。こうした熱心な姿勢が評価される時代が必ず来ると信じています。3Kと云われる国鉄、米、健康保険が時代の変遷、流れて生まれ変わって来ていますから…。50数年、歯科医療一筋に生きて来られた平田先生の誠実な人柄がその言葉の中に含まれている気がする。



何と32年前のユニットがまだまだ活躍。
30万人の患者さんに、先生と共に
奉仕して来ました。

Z O O M ち C L O S E - U P



染谷成一郎先生 の巻

東京都新宿区大久保1-1-18

今回は、東京医科歯科大学の同級生であり、前号でご紹介の愛知学院大学歯学部部長平沼謙二先生のリレーにより、染谷成一郎先生をお訪ねしました。

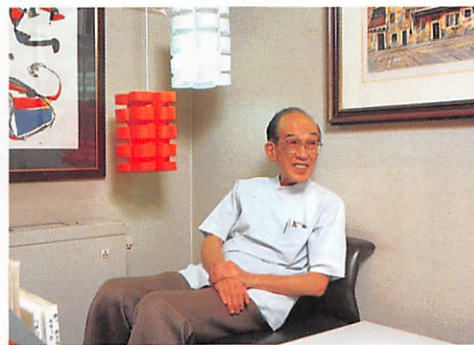
ご専門は補綴学？「うーん。色々ですね(笑)。私は一般臨床医には専門はないと思うんですよ。大学においての学問研究は10~20年と長い年月をかけて専門分野を極めていきますが、開業医は、大学教育で得た基礎知識や実技を日々の治療に役立てながら、それぞれの臨床例に応じたより高度な学問やテクニックを身につけていく。つまり総ての平均のレベルをその後の勉強によって一つ一つ順ぐりに上げていくことではないかと思っています」。

お生まれは豊島区・目白。医科歯科大への入学は昭和19年といわれるから戦争末期。物資欠乏の時に丁度青春期を迎えたわけである。「大学時代は臨床実習の治療室が焼けたり、実家の疎開で、本所の下宿先が東京大空襲にあったりで、とにかく夢中で生きた、というのが実感ですね。昭和23年に卒業し、2年程先輩のところで修業、25年頃から夜間診療をやり正式開業したのは昭和26年でした。今は環境が良すぎるけれど(笑)、当時は此处から三越、伊勢丹のビルや新大久保の駅が見えたんですよ。開業まもない頃の院内は、まるで野戦病院。患者さんも戦争で治療が出来なかったのと、歯医者の数も少ないため、とにかく早く歯を入れてくれと…。聞き知ったアメリカの歯科治療の内容や歯科用器材の質の良さなど、すべてが羨望的でした」。

各地からの講演依頼や専門誌への投稿。若い先生方のためになるならばと引受けられるスタディ・グループの顧問等、多忙な日々が続く。「自身の勉強はもう30年以上も続く同級生のスタディ・グループで、最初はアメリカからの情報・技術を手とり早く自分のものにするための実習付講習会でした。20年過ぎた頃から、息切れがし始めまして(笑)、

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

今は大学の若い研究者の方々から教えていただく会、となっております(笑)。」が「若い方々はやはりケース・スタディが最も早く身につきますね。私はカメラが好きで、昭和50年以前から自分でやった処置の口腔内写真を撮り続けているのですが、ファインダーを通してみると、治療内容が各角度から立体的に細部まで拡大されてよく見えるのです。自然と自分に厳しくなって行きますね。自身の治療の過程をキチッと…。発表するために撮るとゆうのではなくて、自分自身のために、ぜひ若い先生方は撮って頂きたいですね。——歯科医療の在り方について「交通網の発達で転勤が当たり前の時代になり、患者さんも行った先々で治療を受ける時代となりました。聞いた話ですが、アメリカでは他院にかかる時、過去の治療内容のコピーやX線を持って来院し、無駄をはぶく努力を患者も



歯科医もやっているそうですね。X線の被爆量を少なくすることも出来るし、現状と過去の比較経過がわかります。X線写真は良くなっていく過程か、逆に悪くなっているのか、比較しなければ何にも判りませんから、その大切な資料となるのです。以前から矢沢一浩先生が提唱していることですが、日本でもこうしたことを県レベルの“歯科医師会”で集中管理をすれば、患者さんのためはもとより、ドクターも良い治療をしなければ、と自身に厳しくなると思いますね。」と新しい観点から歯科医療の流れを提起。——保険制度については「制度そのものは素晴らしい、それが今日の医療と日本の社会の発展に大きな力となったことは否めません。ただ現在の日本の生活レベルを見る時、いまだに国民に、すべての医療範囲を保険でカバーする必要があるだろうか、と思いますね。保険導入

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

時は、戦後の食うや食わずの時代で、その中でとりあえず最低の医療を保障するということからスタートしたものが、現在は心掛ければ防げるような簡単な病気から最高の高額な医療までも保険でカバーする、ということにいつの間にかすり変わって来てしまっています。悪くなったら医療費は総て保険にオンパにダッコ、悪くしないようにする努力をしてもしなくてもすべて同じ、これでは社会主義国家と同じです。一方歯科医師における治療費も、年齢、経験を問わず総て一率、これも少しおかしいのではないのでしょうか。ひとつの案ですが…。私は卒直後10年は、お金はいっさいただかず保険で自費負担が出来ない方々のために、しかも学校で教わっ



た通りの治療をしっかり経験して身につける。10年過ぎた頃から保険制度から少しぐらいはみ出してもよいから口腔全体を診ながらのすべての方面にバランスのとれた医療を心掛け平均点をあげてゆく。60才を過ぎたら一般的にも定年になるのですから、保険医は定年退職して患者は療養費払で、ドクターはゆっくり今迄の経験のすべてをかけた診療ができ、それに見合う収入が得られるような社会制度にならないものかと思うのです。現在の状態は、若い先生も年のいった先生も保険の患者を取り合っている、そう感じるのは。現状と将来をよく見据えておられるお言葉。先生もおっしゃられたが、もともと各個の問題を議論すべきであり、そうした中からこそより良き未来が開ける。

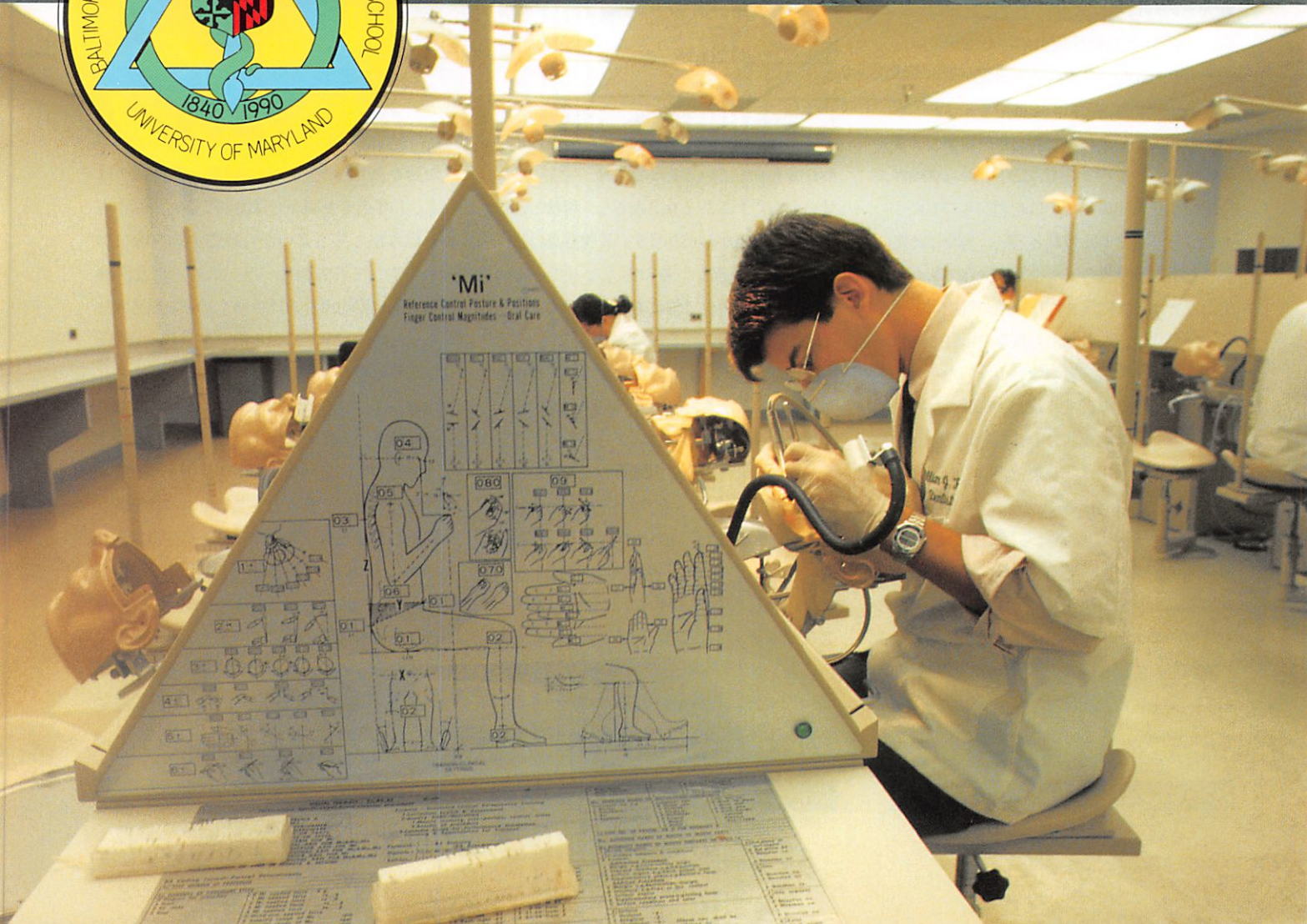
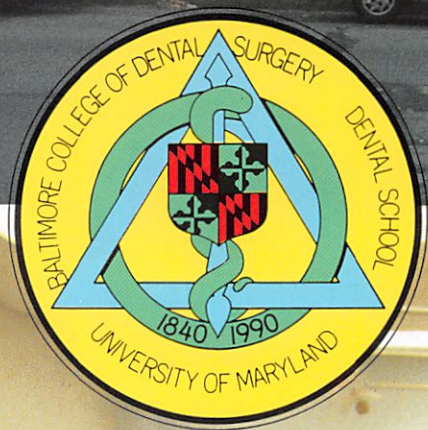
読者の先生方もそう感じられたのではないのでしょうか。

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

海外だより



Baltimore College of Dental Surgery Dental School University of Maryland

はじめに

アメリカのメリーランド大学のデンタル・スクールの名称は大変長くややこしい。そうなったのにはそれだけの理由があるわけで、それをかいつまんで説明すると次のようになる。

メリーランド大学（以下M大学と省略）の起源は、1807年にディヴィジ、コック、ショウの3人の医師が医大を創立したことに始まる。アメリカで創立された五番目の医大だが、現在では米医学界の大御所というか、將軍の如き存在となっている。「將軍」という表現を引っぱり出した理由は、その歴史資料の中に星の如くちりばむこの医大が「初めて…をした」という実績を読んでいる中に、胸に溢れんばかりに勲章をつけた、將軍の姿が目前に彷徨し出したからに他ならない。

一方世界最古の歯科大学となったバルティモア・カレッジ・オブ・デンタル・サージャリーの方は、1840年創立で、ヘイドンとハリスという二人の歯科医に依る。詳しくいうと、システムティックで正式な歯科教育の必要性を感じたヘイドン医のイニシアティブで事は動き出し、ヘイドン医のもとで学ぶため1830年にバルティモアにやってきていたハリス医がそれに荷担した、となる。

面白いのは医科大学の中に歯科教育のフォーマル課程を作ることを、ヘイドン医は最初から考えていなかった点である。「協力して貰えない」という彼の確信が、独立したデンタル・カレッジを創立することとなった。

そしてこの両者——バルティモア・スクール・オブ・メディシンと、ヘイドンとハリスのデンタル・カレッジ——は、1840年に連結し、以後多角的に発展し今日に至っている。

勿論その間、幾つかの合併・統合があった。たとえば、1878年にバルティモア・カレッジ・



オブ・デンタル・サージャリーの、メリーランド・デンタル・カレッジの吸収。1882年創立のM大学デンタル・部門のバルティモア・メディカル・カレッジ歯学部も吸収(1913年)。そして1923年に、バルティモア・カレッジ・オブ・デンタル・サージャリーとM大学デンタル・スクールは合併し、以後メリーランド州の管轄下に置かれることとなった。

というわけで、M大学歯科大の名称は長く、ややこしくなったと思われる。

M大学のスクール・オブ・メディスン

キラキラする勲章が胸一杯の「將軍」なので、その功績をかいつまんで書いてみたい。次にあげるのは、この医大が、アメリカ医学界で初めて実施したこと例である。

・臨床講義

英語では、クリニカル・ベッドサイド・ティーチングと判り易い。

・医大の附属病院建設

・基礎化学の価値の承認

・予防医学課程の導入

・組織解剖の必修

・医大の図書館建設

この図書館は、現在「ザ・ヘルス・サイエンス・ライブラリー」となり、米国東部10州とワシントンDCの地域医療図書館として活用されている。全米ヘルス科学図書館のトップ15のひとつで、データベース（オートメイト図書館システム）も最新。3,100の現行の医療分野のジャーナルを含め、蔵書は29万冊。

パイオニアの責任は、次々と新分野を開発すること、そのためには研究・調査が必要、という哲学で、全米6つのエイズ・ワクシン（ボランティア）人体実験の研究にとり組む研究機関のひとつである。この医大の癌センターが、脳腫瘍治療に広く使われているAZQ開発でも知られるように、イノベーションに富む治療技術その他で著名である。その中には手術をせずにサウンド・ウェーブで腎臓結石を粉砕する治療も含まれる。又、全米で2つしかない精神分裂病研究所のひとつ、メリーランド精神病研究センターもここに存在し、入院・外来患者のケアに当たっている。

「インファーマリー」として知られるM大学メディカル・システムは、1984年に附属病院（1823年建設・785病床）とショック・トローマ・センターと、そして癌センターの3つが合流して非営利民間法人として作られたもので、主として医学生の実臨床トレーニングを目的とする。30年程前にメリーランド全州のエマージェンシー・メディカル・ネットワークとして設置されたこのショック・トローマ・センターは世界的に有名だ。「インファーマリー」は、年に20万人の入院・外来患者にヘルス・ケア・サービスを提供している。

このメディカル・システムで働く医師・医学生・スタッフの総数はざっと4,500人で、年間運営予算はざっと2億5,000万ドルという。

バルティモア・カレッジ・オブ・デンタル・サージャリー／デンタル・スクール

この世界最古の歯科大は、1990年に150周年を迎えており、歯科教育のプロトタイプとされている。創立目的は先に述べたように、専門的な歯科教育。強調しているのは、健全な医学知識と臨床技術の発展だ。

基礎科学部門があり、学生はまず健全なオーラル・ヘルスとはどういうことか、の確固たる理解を叩き込まれる。解剖学、生理学、微生物学、生化学、病理学、薬理学といった科目を歯科医学の概念から学び、理解するわけだ。

クリニックの中には、特種の病を持つ人や身体障害者専門のスペシャル・クリニックも存在する。臨床では、下級生から上級生まで



備されている。それらから学生は、開業するロケーション、オフィスのデザイン、会計、機器具の選択、コンピュータ化、といった知識・技術を身につけて社会に出ていくこととなる。

歯科医のためのDDS資格、高度専門教育、大学院研究課程の他に、ハイジニスト向け修士課程もこの歯科大は提供している。又、新分野、革新的治療技術研究開発を目的とするザ・センター・フォア・ザ・スタディ・オブ・ヒューマン・パフォーマンス・イン・デンティストリー（歯科医学における人間のパフォーマンス研究所）も設置されている。この所長はD・ビーチ医だ。

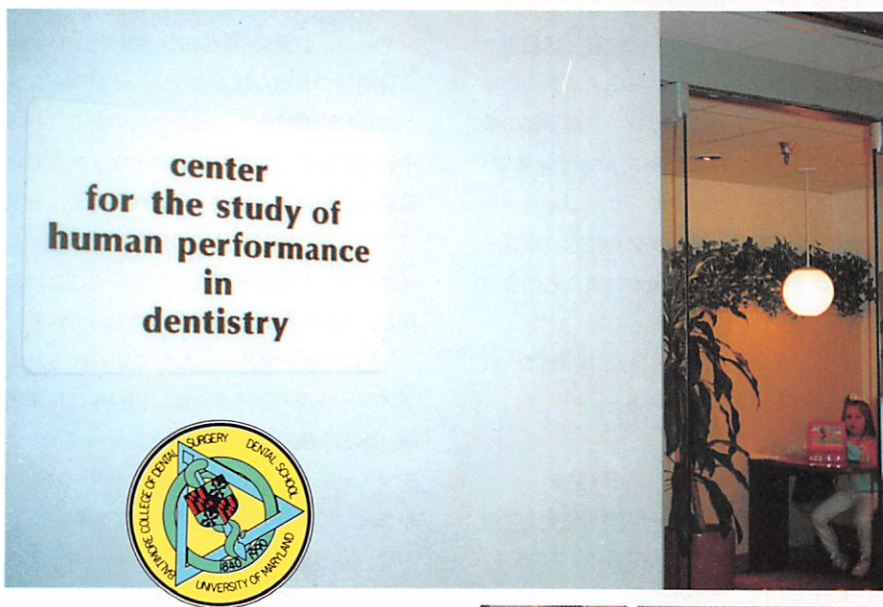
この研究所を見せて貰って驚いたのは、その日本の高級料亭を彷彿させる雰囲気だ。障子風のしきり、壁にまで窓風にこの「障子」がはめ込まれている。植木にも、何となく「日本」を感じる。全体の雰囲気は、まことに静かで、平和というか、落ち着いた感じだ。色、家具、位置、その他でかもし出される雰囲気、人間に与える影響を研究していたのかも知れない。

ともかく、調査・研究に優れているので、この歯科大は世界保健機構（WHO）がその共同センターと指定している程である。1989年～1990年度の研究活動助成金と契約収入は220万ドルだったようだ。

ちなみち、革新的治療技術開発の良い例として、世に名高い「メリーランド・ブリッジ」がある。これは酸で腐蝕したボンドのレジン・ブリッジ（Acid-etched bonded resin bridge）だが、M大学バルティモア・カレッジ・オブ・デンタル・サージャリー／デンタル・スクールで開発したので、そう呼ばれているわけである。

学部教授数は210人。学生の48%は女性、少数民族は27%、メリーランド州以外から来ている学生は25%、となっている。

エンドドンティクス部門のチェアマンの



各学年の歯学生とデンタル・ハイジーン専攻の学生24人がひと組となり、診療・治療に当る。インストラクターの一般臨床医と特定分野の専門医が、その間ぐるぐるクリニック内を回診する仕組となっている。クリニックの外来患者は年間15万人という。

又、実社会の現実で、オーラル・ヘルス・ケアを効果的に実施するのに役立つ課程も準





Dr. Eric J. Hovland

E・ホヴランド教授の話では、20年程前は殆んど全部が白人の男子学生で、女子学生はいても1人くらいだったそうだ。少数民族の学生もグンと増加し、その多くは東洋系という。又、近年の傾向は、30才から32才位で入学してくる大人の学生が増えてきたことだ。キャリア・チェンジ希望の人達である。中には英文学を専攻した人などもいるという。

「歯科医療も変わってきており、当校では人文学の道を歩いてきた人、又はそれらを専攻してきた学生を求めています」と彼は言う。

学費(1989~1990年度)は、メリーランド州住民の学費のM州外から来ている学生向け学費とに分かれていて、前者は後者のほぼ半額。M州住民学生の場合、DDSは6,228ドル、ポストグラジュエート(大学院・研究科生)は5,090ドル、デンタル・ハイジーンは1,724ドルだが、州外から来ている学生の場合、この順で、14,204ドル、10,284ドル、5,380ドルとなっている。

歯科大の案内・説明は『主としてエンドドンティクス部門のN・マクドナルド医師の世話になった。歯科大の哲学が、ティーチング、リサーチ研究の努力、サービス』であるせいか、2時間程あちこち案内してくれたあげく、彼の部屋で更に3時間程、私の取材に応じてくれた。

私は日本の歯科大を訪れたことがないので日本の事情は知らないが、欧米の歯科大はいくつか訪問したので、その体験からもこの歯科大で勉強する学生は幸せだなあ、と思った。

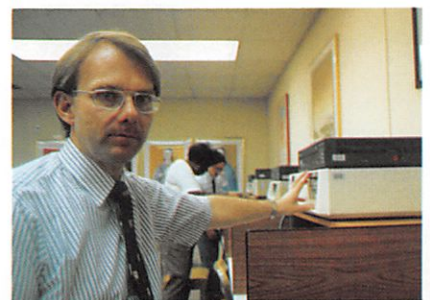
通常「ラーニング・センター」(正式名はテクノロジー・アシステッド、がその上につく)と呼ばれる学生の自習センターだが、ひとことと言うと、超近代的図書館だ。歯科医療に関するあらゆる課題の自習用資料、ビデオ・テープ、スライド、etc.——が揃っており、学生はコンピューターその他の設備・施設を駆使して、自己ペースで勉強することが出来る。又、これらのテープを借出して、又は購入して自宅での勉強も可能だ。

この「ラーニング・センター」は、ヘルス・サイエンス学部のビルと、この歯科医療のビルにひとつずつ設置されている。マクドナルド医の説明によると、全米の歯科大でこの種の「ラーニング・センター」を持っているのは、ここを入れてもまだ5校しかないという。この歯科大で包括的歯科ビデオ・ディスクを作り始めたのは6年程前だそうだ。

この「ラーニング・センター」の向い側にあるのは「ナショナル・ミュージアム・オブ・デンティストリー(和訳では多分、米国歯科医療博物館となろう)」である。この博物館のある建物は、バルティモア・カレッジ・オブ・デンタル・サージャリーが、1904年から1924年まで拠点としていたものである。この建物の隣には、更にこの医大創立者の名にちなんでつけた「ディヴィジ・ホール」が存在する。

勿論、両建物は改築されて現在使われているのだが「ディヴィジ・ホール」は建てられてからずっと医療教育一筋に使われてきた施設としては、西半球上最古のものだそうだ。

これらの歴史的建物や歯科医療博物館を通して歯科医療の歴史的展開経過資料を保存する姿勢などから、如実に伝わってくるのは、新分野にパイオニアとして常に挑戦しているこの歯科大は、過去も大切にしている、とい





うメッセージだ。

この歯科医療博物館に収集されている物の中には、ジョージ・ワシントンの入歯(下部)、初期の歯科治療器具類、歯科医療をテーマとするポスター、絵、美術品、ねり歯みがき入れの「ツース・ペースト・ポット・リッド」、メグリオン、彫刻、子供や動物が治療をうけているユーモアたっぷりの小像類(中にETまで見られた)、等がある。

丸い歯みがき入れのフタには、芸術的なデザインがしてあり、「アレキサンドリア王女」のもの、とか説明がついている。1個6,000ドル位するようだ。

コレクションは巡回展として貸し出されてもいるという。又、この歯科大のコレクションのみならず、他のコレクションも含めた資料情報を近々カタログとする予定ということである。勿論、コンピュータ・システムを使用していることである。目的は、歯科医療の歴史を研究したい人達に、その情報拠点とサービスを提供することだ。

メリーランド大学のバルティモア・キャンパス

バルティモアは全米12位の大都市であり、アメリカの国歌が書かれた都市でもある。

M大学は、アメリカのみならず海外にも拠点を持っていて、現在そのキャンパス数は11にのぼり、学生数は12万4,000人だそうだ。

バルティモア校(32エーカー)の創立は1807年で、87の修士と博士号プログラムがあり、分野は医科、歯科、法律、看護、薬学、社会事業となっている。学生数は4,727人で、教授とスタッフ・メンバー数は8,734人。90年末時点の資料によると、運営費は5億3,800万ドルで、その30%ほどが州から出ている。残りの70%ほどは、政府補助金、調査・研究代、治療費、学費、フィー、民間からの寄付、その他でまかなっている。

バルティモア校は今やヘルス・サイエンス研究機関のリーダー格で、90年の研究補助金



は8,000万ドル(5年で2倍になったようだ)。バルティモア校の調査・研究は、エイズ、精神分裂病、痛風、癌、といった医学分野だけでなく、ホームレスや子供虐待、エイジング、シングル・ペアレンツ、環境規定といった社会問題分野も含まれている。

ちなみに、バルティモア校の薬学部は1841年の創立で、全米4位。アメリカの薬学教育の基礎作りとその発展に大きく寄与してきている。

看護学部は100年程前に、フローレンス・ナイチンゲールの生徒だったルイザ・パーソンズによって創立され、現在全米トップ10のひとつとなっている。79年より博士号課程を提供している。

今回の取材に応じてくれたエンドドンティクス学部主任のハウランド教授は、キビキビと精力的な人だ。教授としての生活をフルにエンジョイしており、そちらの方で大変忙しいが、週末のゴルフは欠かさぬようにしているという。

ゴルフは7年前に始め、今ハンディは18。最初はパブリック・ゴルフ・コースでやっていたが、やる人が増えてきて混んできたので、今ではカントリー・クラブでやっている、と



いって笑った。夏は朝6時半からやり、午前11時頃には家に戻る、というゴルフ・スケジュール。

日本人とはまだゴルフをしたことがない。「私はまだ日本に行ったことはありませんが、行ったことのある友人達のコメントでは、素晴らしいそうですね。そしてすごく文化が違っても言います。更に彼等が口を揃えて言うことは、「物凄く(物価が)高い! です」と笑った。彼の日本へのメッセージは、「私達日本とアメリカは、多く分かち合うべきものを持っています。ですから、コミュニケーションすることを学ぼうではありませんか」、である。

ところで彼のオフィスのドアに、「蛙のルーム」とのサインがあるので、その意味を尋ねたら、「学生のいたずら」といって、彼の蛙のコレクションを見せてくれた。ガラスの入れ物には一匹本物の蛙がいて、「これはもう8年もここに住んでいます」とのことだった。特に蛙に関心を持っていたわけではないが、誰かが旅行先のお土産にくれた蛙のおもちゃがきっかけで、知らぬ間にコレクションとなってしまう、という。

「日本製もありますか?」と聞いたら、「いえ、ありません」との返事なので、誰かが日本から送ってあげたら話題となろう。

色々案内してくれたエンドドンティクス学部のマクドナルド助教授は、祖父がかじ屋、父は木製のボートなどを作っていたので、子供の時仕事場に遊びに行くと、彼自身色んなものを作ったという。そういう背景も手伝って、手の技術を必要とする歯科分野に惹かれたらしい。

彼もH教授同様、大変教育活動をエンジョイしている模様だ。そして2人とも、口を揃えて「問題解決」を強調するのは興味深い。「多くの学生は、試験のために講義を暗記する傾向がある。もっと問題解決に焦点を合わせるべきだ」(H教授)

「同じ顔をした患者が存在しないように、ひとつひとつの治療がみな違う(同じ病気でも患者によって治療は変わる)。体得した技術を使う、のではなく、特定の問題を如何に解決するか、という観点から知識・技術を使うのだ」(M助教授)

といった具合である。

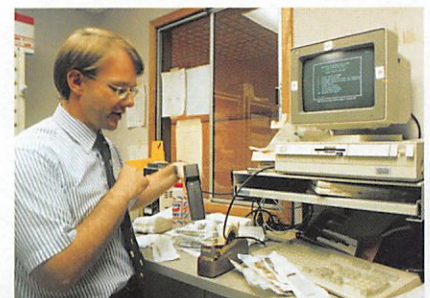
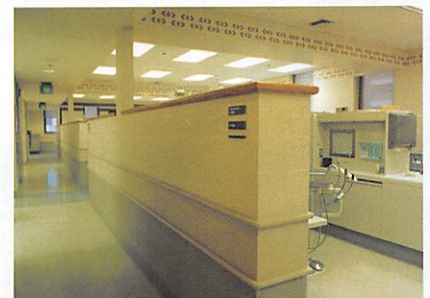
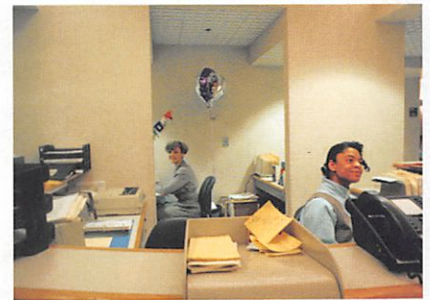
オサダが納入したエンディックス(根管長測定器・アビット)は正確で、使い易い、と大変好評のようだ。ルートキャナルの穴の深さの測定が確実で、他社の機器に比べて最も使い易いようだ。エナックも同じく大好評。「小さくて、扱いやすく、サフィシエントで——。不要なものはないので、やるべきことはちゃんとやるので気に入ってます」(M助教授)

M助教授は多趣味だ。エンドドンティクスの他に、臨床撮影も教えている。写真の腕はプロなみだからだ。マケットトッシュ・コンピュータにも凝っている。日曜大工もやる。ウォーターに関係する活動もみな好きで、良くセーリングを楽しむという。

筆者紹介

岩本蘭子

ボストン大学大学院ジャーナリズム科卒
ランコインターナショナル社長





DENTAL SPACE

花京院歯科 クリニック

仙台市青葉区本町1-12-1
第八ホープビル2F

院長 高橋紀子(旧姓・沢村)

限られた予算、スペースの中で
いかに無駄のない効率的な
診療が出来るかを考え、
作り上げました。

仙台駅前を北に向かう広い通りを4~500m、花京院交差点の左前方角地に建つ第八ホープビルの2階にご紹介の花京院歯科クリニックがある。1階はコンビニエンス・ストア、通りに面したロココ調のモダンな階段を昇って玄関入口へ。

待合室は木目の床に濃茶の待合用椅子。天井、壁は白。茶系と白で統一された、落ち着いた大人の雰囲気。

ドアを開けて診療室へ。そこで雰囲気がガラリと変わる。角地に面し扇状に作られたビルゆえ、前面の窓からは明るい陽射しが診

療室一杯に広がる。窓に沿って淡いグリーンとベージュのツートンのスマイリー<GM>が中央のキャビネットをへだてて2台ずつ、計4台並ぶ。ゆったりとユニットの背面を取り、後方にピンクとベージュのキャビネットや消毒コーナーを設置。直線や角面をなくし各コーナーが波状につくられ、巧みに患者さんの視線をかくしている。

グリーンと白とピンク。パステルカラーでまとめた室内は、やさしく華やかなイメージで、一目で女性が主(あるじ)の診療室と思わせる。

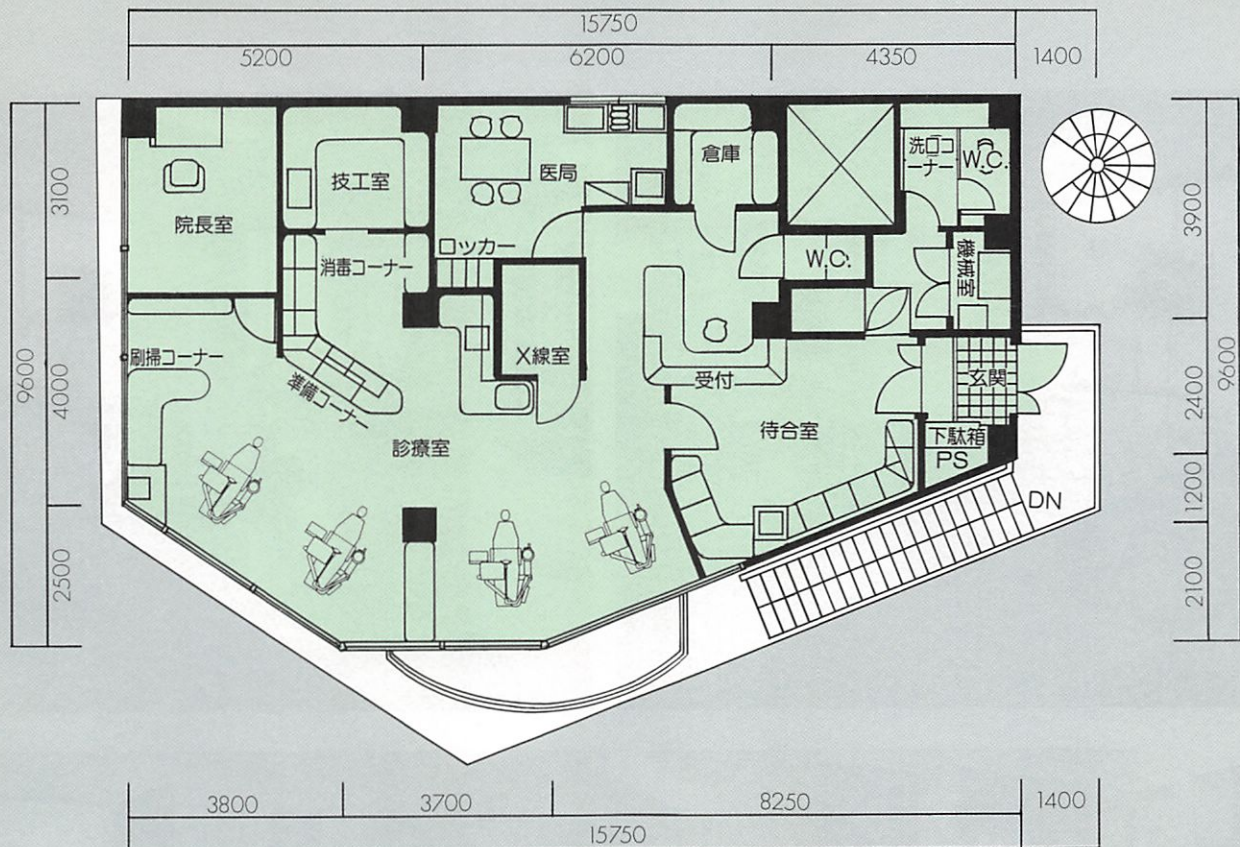
院長は東北歯科大学(現奥羽大学歯学部)の第一期生。卒業後は東北大学の予防歯科学教室に12年勤務され、講師になられたが、恩師である島田義弘教授の定年退官にともない、共に退職。一昨年6月、開業へと踏み切られた。

女性ばかりの和気あいあいとした明るい雰囲気、歯科医院にはもったいない位(?)の立地条件。

患者さんにとっては好都合でうれしい歯科医院であろう。

Q: 銀行、商店が欲しがるような素晴らしいビルですね。

院長: 開業は主人が(東北大学歯学部口腔診断科勤務)やるものとずっと思っていました(笑)、退職直前に、近くで開業している友人から、このビルのオーナーが歯科医院の入居を希望しているというこ



■設計・施工：(株)都市住宅コンサルタント・(株)熊谷組東北支店

■開業：平成2年6月

■スペース：約135㎡(約41坪)

■ユニット：スマイリー<GM>4台

■診療時間：10:00~13:00、15:00~19:00、土曜14:00迄、(休日)日曜、祝日

■スタッフ構成：歯科医師2名、衛生士2名、助手1名、技工士1名、受付1名

■患者数：1日約30名



院長：高橋紀子先生

とを聞き、場所が気に入ったので、急速開院することになりました。その時、大学以来の友人である小枝先生が10年余り一般歯科で勤務医をしていて、私の歯科医療に対する考えに共鳴してくれ、そこをやめて手伝ってくれることになり、色々実際的なことが相談出来て非常に助かりました。

Q：良すぎるので、てっきり持ビルかと…。

院長：とんでもありません。でもここですと私がやりたいと思っていた医療が出来るのではないかと…。思い切って…。

Q：ご自身がやりたいと思われている歯科医療とは？

院長：現在働き盛りの人達。この方達は歯医者に行きたくても忙しくて行けない人が多いのです。でもムシ歯はともかく、歯槽膿漏は早い時期に指導、管理を徹底し

ませんと、年をとってからの処置は難しくなるのです。幸い私は長い間ずっと予防専門に勉強して来ましたのでこの方達を何とかしてあげたいと…。この場所ならオフィスからすぐ近くだし、休み時間、勤務後にも気楽に来れるのではないかと…。

Q：では保険のご本人が多い？

院長：ええ、本人が8割、家族が1割、あと1割が国保というのが保険証の内訳です。

Q：スタッフ構成と患者数は？

院長：ドクター2名、衛生士2名、助手1名、受付1名、技工士1名の計7名で、1日およそ30名ほどの患者数です。

Q：ご主人の協力度は？

院長：ハイ！主人がもしいなくなったら、精神的にも経済的にもやってはいけません。感謝しております(笑)。それに主

人の専門が顎関節症なので、最近そういう患者さんが増えており、専門的な助言を得られるので助かっております。又、友人、知人、ビルのオーナー、業者の方々も、開業に関して皆さん暖かく協力、アドバイスをしてくれまして、助けられつつ今日まで来たというのが実感です。でも協力してくれる点は別にして私達夫婦





の歯科医としての関係は変わっているかもしれませんが、ライバル兼戦友としてなるべく自立しようという方向をめざしています。これも又共稼ぎ夫婦の一つのあり方だと思います。

Q：では思い通りの診療を…。

院長：歯科診療における私の方向、考え方も云うべきものは、東北大の島田先生から12年間の長きに渡って色々教わりました。もし、島田先生と出会わなかったら、今の私の生き方はかなり違っていただかもしれません。良い先生に辿り会えたと…。近くにも歯科医院は多いのですが、私の目的としている患者さんと層が違っておりますから、開業によりあまりご迷惑はかけてないと思います。

Q：歯科医師を志された動機は？

院長：父が僻地の開業医で、母と二人でやってきましたし、結果的に兄も医師、姉が看

護婦、弟も歯科医になったことから、医療関係へ進むのは運命的なものかもしれません。ただ高校卒業後、仏教に興味をもち、京都の仏教系大学へ入るという寄り道をしていましたが、たまたま故郷郡山に歯科大学が出来るということで、弟も入学するからお前もどうだ、と親から勧められ、手に職をもつため入りました。医療に対する考え方の原点は、医は仁術

という理念で、数年前、志し半ばで過労のため続けて死亡した父と兄の医師としての姿勢にあります。残された家族のことを考えるとあまり正しい生き方だとは思いませんが…。このスタッフ数をかかえ、私費診療はほとんどない現状なので、経済的には余裕がありませんが、医療とは何かを常に考えながら何とか頑張っていきたいと思っております。

Q：スタッフの教育については？

院長：歯科治療については問題があっても自分の範囲で何とか解決できますが、ことスタッフの教育とか、人を使うというのは経験が乏しいので一番むずかしいです。事故は絶対に許されませんから、細かい所まで注意しますが、その辺を本当にわかってきているのかと悩むことが多いですね。でも皆さんよく頑張ってくれまして…。医院が安定したら、休みも



給料も、そしてたまには旅行にも、と考えていますが…。患者さん第一という私の無理を聞いてくれるスタッフには感謝しております。

Q：診療室を作られるにあたってご留意された点は？

院長：とにかく限られたお金、スペースでしたので、無駄は一切はぶき、効率のよい診療室にと。器入れ一つでも、戸が必要なものか不必要なものかを考え、無駄なものからのストレスを受けることのないようにしました。一つ一つ、オサダさんと基本設計図を前に、1ヶ月位かけて検討しました。ほぼ思い通り、使い易いですよ。

Q：オサダのスマイリーGMについては？

院長：東北大学時代、教授が機種選定について、新人でも普段使う人達の意見を聞いてくれる素晴らしい方でした。各社の

色々な機種を10年以上も長い間使っていましたので、その良さはわかりますよね。そうした経験から、とにかく、たとえ高かろうが、安かろうが、ユニットはオサダと決めていました。ユニットは毎日使うものだし、特にオサダはアフターサービスが、他より非常に良いので、安心して使うことが出来、ちっとも高いとは思いませんでしたね。

Q：今後は？

院長：開業当初は自分の気負いもありましたが、2年目に入って、私も普通の歯医者さんだ、とわかって来ました(笑)。このままの姿勢で、医師と患者さんの気持ちか離れないように。そして常にもし自分が患者さんだったら、どうしてもらいたい、という心を忘れずに…。それを大切に守りながら今後もやっていきたいと思っております。

歯科医院の新築・改築・増築から、
医院経営まで、
すべてわかる。



歯科医院

定価10,300円
(本体10,000円)

開業ガイド

- 〈主な項目〉
- 歯科医院のセクション別実例
 - 歯科医院のレイアウトチェックリストと基本事項
 - 歯科医院のレイアウト実例
 - これから開業される先生方へ
— オサダからのアドバイス他
- 〈別冊付録〉
- 設備機械、器具、材料リスト



歯科医院

定価6,180円
(本体6,000円)

経営マニュアル

- 〈主な項目〉
- 開業準備の留意点
 - 開業準備計画書／開業収支・資金計画書
 - 歯科医の節税戦略(青色申告)
 - 特別経費・専従者給与・みなし法人・損益通算・特別償却
 - MS法人・医療法人
 - 財テク・税テク 他

※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。
長田電機工業(株)/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

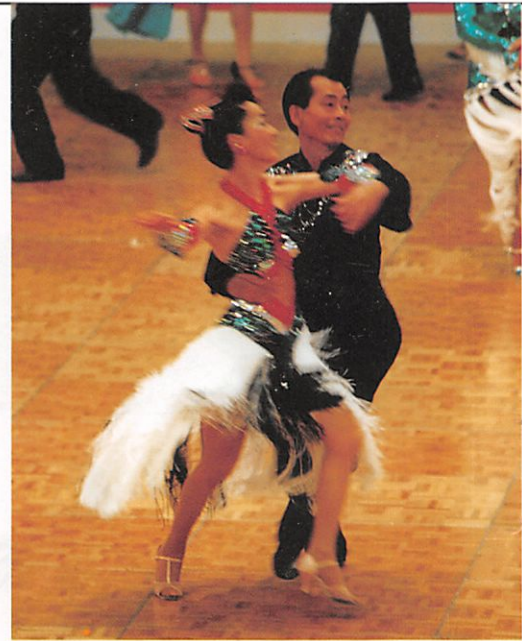
トピックス

田嶋歯科医院

東京都中央区東日本橋3-9-12 丸美ビル3F

院長 田嶋紀一郎

歯科医も趣味も、常に全力投球。
それが私の生き方です。



「自身の生活を心身共に鍛練し、健康を維持しつつ、そこから明日へのパワーの糧を得る。その為に私はダンスを選びました」。真っすぐな背筋、細身な体には余分な贅肉は全くみあたらない。47才から始められたと云われる競技ダンス。当方にはダンスについての知識はナイトクラブや各種パーティーで、場持ちの為に踊る位、せいぜい時たまテレビで観て、きれいに踊るもんだナ、と感心する程度のもので、皆無に近い。が先生のお話を伺っている内に、こりゃ大変なスポーツだ、と思えて来た。「ダンスには、楽しむソシャルダンス、鍛えるスポーツダンス、そして私がやっている競技の為のダンスがあります。今年も「スーパージャパンカップ'92」が2月22～23日、日本武道館で開催されましたが、通例は全国から選ばれた競技者が4次予選から始まり、3次、2次、1次と次々とふるいにかけて準決勝、決勝と進んでゆくのです。踊りの種目としてラテンとモダン部門がありますが…過去では'90年スーパージャパン・グランド・シニア・ラテンの部でグランドチャンピオン、モダンの部で今回と同じ3位、米国で開催されたU.Sオープンでは35才以上のシニアクラスで2位に入りました。でもこれは結果であって、その根元は前にも云いましたように、若さを保ち健康を維



持する為にやったダンスが、ストレスや運動不足の解消、更には挑戦する意欲、パワーへとつながって行っているのです。ですから毎夜、時間が許さかぎり閉院後2時間の練習は欠かしません、自分がくたびれた、と思ったらすぐやめます。本業はあくまで歯科医師であり、ダンスは趣味の部であるからです。それを証明するのが、過去、日本橋歯科医師会専務理事、国保審査委員、日歯、都歯調査室委員、学校(日歯大卒)校友会日本橋支部長、スタディグループの主宰等、歯科医師としても大活躍の履歴である。「そうですね。私の場合はダンスというものでしたが、何にでも精一杯うち込むこと。一生懸命真剣にやることの貴重さを感じたこと。ただそれによって本業をおろそかにしてしまったら何にもなりません。ダンスは人にはセミプロと云われますが、私はアマチュアであって、プロになる気はありません。都歯科医師会にもソーシャルダンスクラブがあり、デンタルスタッフやその友人達を含めて会員は現在150人程おりまして、年2回パーティーを開き、技術の向上と互の交流、親睦を目指しております。その中から全国的な競技大会に品川の並木暢先生、広瀬徹先生など2~3人が毎年出場しておられます。又、一流ホテルで催されるパーティーのデモには武蔵野の八木珠緒先生など立派に各種目に出場しておられますが、皆さん

ご存知のように会の役員や幹事もキチッとやられた上で自身にチャレンジしておられます。こうした友人、仲間が増え、自分の生活を豊かにすることは素晴らしいことですし、私の場合は更に、ダンスをすることによって音楽という部門にも広がって来ました。ダンスは音響が一体でなければなりません。ですから私は世界中からCDを集め、その音を編集し、自分のカセットに入れ各種のパーティーにデッキ共々持ち込みます。その編集作業にも1ヶ月は充分かかりますね。でも面白いし、好きなんです(笑)——ダンスを始められた動機。47才ではちょっと遅かったのでは? 「その動機づけは——父は歯科医(東歯大卒——86才で現職とのこと)なのですが、戦後自宅にダンスの踊り場を作り、友人達とレッスンをやっておりました。その頃私は高校生で、よくレコード係をやらされました。人生は面白いもので、当時誤診で肺結核と間違えられ、一学期学校を休ませられました。本人はピンピンしておりますから、電気屋さんでアルバイト、そこでラジオの組立てを覚えたから、近所や知人から修理や組み立ての仕事がどんどん入るんです。高校生なのにバイトでお金には全く困らない。レコード盤を山ほど買って…その辺りから音楽に魅せられて行きました。がその後大学での勉強が忙しく、卒後は結婚、子育て、と同時に今度は水

上スキーに凝りましてね。妻ともども一級船舶士の免状を取って箱根芦ノ湖に子連れで毎週日曜日に通い詰め。15年間やりました。多くの友達や弟子、サークルも出来、たのしかったのですが、あれは何しろ80キロも出すのですから危険なところがありますから…。そこで昔を思い出しダンス、音楽に戻りました(笑)。ですから今でも電気のことに詳しいし、それがオーディオ作りにまで及んでいます」。

ちなみに、幼少の頃より湖に連れられて行った次女の方は、ウィンドウ・サーフィンに魅せられ、過去全日本チャンピオンを3回獲得、今はオリンピックを目指しておられると云う。

「2人で取ったトロフィーが百数十個になりましたが、捨てるに捨てられず(笑)、自宅の壁3面にギッシリ。持て余しております(笑)。「でも云えることは、あくまで自身のやるべきことをキチッとやった後、余った時間を自分の為に如何に使うか、ということが大切なのではないでしょうか。これは守って来たつもりです。」。先生のお話を聞いていると、人間の可能性、広がりは無限に近く、又、人生は決して一通りではなく、2通りにも3通りにも、心掛け次第でいくらにでも生きることが出来るのだ、という自信が湧いて来る。まだまだ若き溢れる57才(?)である。



医療法人社団 星高会 今井歯科医院

埼玉県狭山市入間川1-3-25
JOL 狭山ビル3階

院長 今井基泰

粕谷 和枝さん
広井 麻美さん
小柏喜久代さん
更科 朱美さん
郷家由里子さん

新宿より西武新宿線・急行でおよそ50分。
狭山市駅・西口改札口に立つと駅前右手の薄
茶色のテナントビルの3階ガラス戸に、「今井
歯科」と書かれた表示がすぐ目に入る。

院長は東京医科歯科大学卒業後、同大学
院、更には同大助手、講師兼補綴科医局長、
外来医長、付属歯科衛生士学校の講師を勤め
られたという実力派。従って、開業も昭和61
年、39才と遅いが、それだけに患者さんの信
頼度も厚く、遠方から先生を頼って来院され
る方も多いようだ。

最初にご紹介するのは平和学院衛生福祉専
門学校を卒業された、衛生士の粕谷さん。卒
業後所沢市にある医院に勤めたが1年で退
職。学生時代アルバイトで勤めたことから、
1年前に当院へ。衛生士を目指した動機は
——「高校時代、知り合いの医院を手伝った
ことから、歯科医院の雰囲気と人と接するこ
の職業が自分に向いているな、と感じて学校

へ行きました」。で、今は「スケーリングや歯
ブラシ指導など、本人が自覚し、きれいにな
っていくのを見ると、心からうれしくなって、
この職業を選んだ良かったな、と思います。
でも時々、何回云っても全く聞いてくれない
人、40代位の男性と50代の女性にわりと多い
んですが、多少落ち込みますね(笑)」。前院は
1年で退職。理由は？「院長がちょっと神経
質で、混んで来ると自分でイライラし、あた
りちらすんです。とてもついて行けないと…」。
ハキハキとした語調、丸い顔に大きな目が印
象的だ。

広井さんはこの道4年。そろそろベテラン
の域に入る衛生士さん。新潟市にある歯友会
歯科技術専門学校を卒業後、市内の医院で2
年間働いた後、看護学校に入学した妹さん
共々上京、当院へ。つらいことは？「うーん、
あまりありませんね。患者さんが多いと疲れ
るけれど、でも休みの前日は元気一杯だし
(笑)。当院ではないんですが医院を次々と
やめる方がいると聞きます。どうしてなん
でしょう？「結婚を別にすれば、やはり拘束時
間が長いことと、人間関係でしょうね。女性
が多い職業ですから、一度悪くなると難しい
んです。その点当院は仲が良し、先生はや
さしいし、働きやすいですよ」とすかさず
P.R. やはりベテランである。将来は？「衛生
士の資格をフルに使って仕事をさせてくれ
ますから、今の状態がベスト。後は自分で
もつと努力し、患者さん指導等をさらに上手にや
れる衛生士になるだけです。」優等生のご返
事である。

小柏さんはこの道9年という大ベテラン。
西東京(旧西多摩)歯科衛生士専門学校を卒業
後、病院歯科室で2年半。勤務されていた先

生が開業するからと云われてそこに移り1
年。義兄にあたる当院の院長が開業したこと
から此処に来て5年目を迎えている。衛生士
を志された動機は？「姉も臨床検査技師とい
う資格を持っているんですが、私も何か資格
を取っておきたいと、技工士にでもと思った
んですが、あまりセンスがないし(笑)」。やさ
しい美人のお姉さん、という感じであるが、
芯はかなりしっかりしているな、という印象。
——衛生士という職業観について「難しいな
(笑)。つきつめれば自分次第で色々出来るや
りかひのある職業だと思います。ですから反
面手抜きも出来るということで…(笑)。接客
ですから、大変な部分もあるけれど、返っ
てくる喜びも多い仕事ですね」。一般的にやめ
なくなる理由は？「やはり資格を充分に活か
せない医院とドクターの考え方に賛同出来な
い部分がありますと無理ですね。収入面は他
のOL、又看護婦さん、技工士さんと較べて
も休みや時間を計算すれば決して安いとは思
いません。ただ、福利厚生、ボーナス等も医
院によって保障がまちまちで、そうしたこと
が衛生士をやめて行く大きな原因ではないで
しょうか。やはりベテラン、良否は別にして
医院の本質をよく見抜いている。

更科さんは狭山衛生学院歯科衛生士科の卒
業。学校名が示すごとく地元出身の衛生士さ
ん。卒後半年で当院に転職、5年近いベテラ
ンである。「前の医院は、卒業直後で燃えてい
たからかな(笑)、衛生士本来の仕事させて
もらえず退職しました」。やはり皆さんも云わ
れるように仕事の内容が転職の大きな原因の
ようだ。——この仕事について良かったこと
は？「女性にしか出来ない仕事でしょ。患者
さんの歯に対しての悩みを聞いてあげて、そ



れを解決してあげること。やりがいがありますね。でもこの職業についてから3年目位で、違う職業も経験してみたいな、と思ったことがあるんですよ(笑)。でもやっぱりやめられなかった(笑)。——嫌になる原因は? 「この仕事って汚いでしょ。それと夜は遅いし…。あつ、でも朝も遅いから同じね(笑)。やっぱり職場の人間関係かな。結婚後は? 「やっぱりやめます。私って家庭と仕事の両立は性格上無理ですから」とキッパリ。明るい笑顔と屈託のないご返事。患者さんにはうれしい衛生士さんであろう。

郷家さんは卒業後看護学校に通っていたが、親の事情で中退。以来他院に2年、当院で3年の計5年間、歯科アシスタントとして活躍。この方もやさしく明るい笑顔が印象的だ。この医院をP.Rして下さい(笑)。「一番はやっぱり雰囲気。チームワークが良いことです。二番目は院長先生が、技術も含めて患者さんにとっても親切。友達に聞いても表面的には良くても、内面は雑なところが多いと云います。その点、ここは表も裏も、総てキチッとやる方針ですから気持ちが良いです。いいえ、これ本当のことですよ(笑)」。2年勤めた医院から父親の転職にもなって名古屋より上京、——仕事の内容は? 「受付(全員)から先生の手助けと衛生士さんのアシスタント、その他消毒などが主な仕事です。医療関係の仕事が好きでこの職業についてなんですが、皆に助けられて5年が過ぎました。結婚後は? 「相手はまだいないんですが、この仕事は勉強が大変でしょ。相手次第ですが、出来るかどうか、ちょっと心配です」。上昇志向が強い、頼もしいアシスタントさんである。



院長 今井基泰

〈院長から一言〉

当院は原則として月1回のミーティングと後はその都度、気がついたことを注意する位で特別これを、ということはやっておりません。どんな職業でも云えることですが、経営者が従業員よりまず自分の利益を第一に追求してしまっは人はついてきません。従業員は消耗品ではなく、パートナーなんですから…。院内ではその人の能力を充分活かす努力と相手の身になって考えること。患者さんに対してもいくら看板やビラを派手にしてみても、患者さん自身の口込みにはかきません。相手の身になる、これは従業員でも患者さんでも同じです。もし女性がいなかったら、私は何も出来ません(笑)。他院のことはわかりませんが、私にとっては100点を充分あげられますし、スタッフには恵まれたと感謝しております。

アシスタント のための 診療室の手引き



定価6,180円
(本体6,000円)

アシスタントとしての心構えから話し方、患者さんへの対応の仕方、会計、消毒、手渡し技術等々をわかりやすく解説。また、簡単な機械のメンテナンスも図付で説明。アシスタントのノウハウを詰め込んだ一冊です。



※御希望の方は下記迄、御連絡下さい。

長田電機工業株/顧客センター
〒141 東京都品川区西五反田5-17-5
☎03(3492)7651(代)

診療室訪問シリーズ

友野歯科医院

千葉県館山市山本2-1

院長 友野 勝
(日本大学歯学部卒・35才)

副院長 友野治枝(旧姓・長尾)
(日本大学歯学部卒・30才)



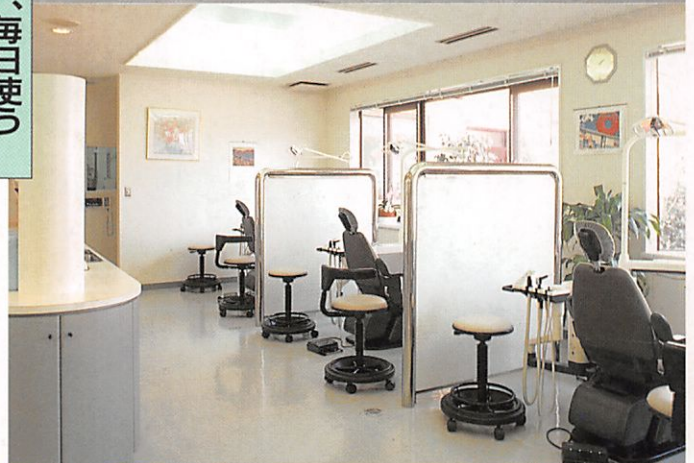
診療室は総てモノトーンでまとめ、落ち着きと若々しさの双方を採り入れました。スタッフは私達夫婦と弟(技工士)と妻(衛生士)を中心に計7名で、1日約30人ほどの患者数です。時間をかけて丁寧な治療を、と心掛けていますが、妻の活躍も大きい



スッキリとシンプルな形と共に、毎日使うエナックや光重合が内蔵されている。見た途端気に入ってしまいました。

館山駅より車でおよそ10分。鴨川方面に向かう国道128号線に沿って建つ友野歯科医院。ベージュのタイル貼りに濃茶の屋根。前面は郊外開業医らしく、広い駐車場を有している落ち着いた診療所。開業は昨年5月。院長は卒業後、大学院、更には補綴科に5年間残って研修されたという勉強家。副院長をされている奥様も同大から研究員へと。同じ医局で知り合った「おしどり歯科医」である。

「診療室のインテリアは、患者さんが入って来て受ける印象を大切に、と。待合室はウッドイ感覚とモノトーン感覚の両色彩を採用。診療室は総てモノトーンでまとめ、落ち着きと若々しさの双方を採り入れました。スタッフは私達夫婦と弟(技工士)と妻(衛生士)を中心に計7名で、1日約30人ほどの患者数です。時間をかけて丁寧な治療を、と心掛けていますが、妻の活躍も大きい



で、子供が出来たら…。その点がちょっと心配です(笑)。と院長。副院長であられる奥様は「言葉、環境等、初めは戸惑いましたがやっとなれて来ました。この職業は決して片手間には出来ない仕事ですから、熱意を持って持つほど、特に出産・子育てという難題をかかえる女医にとっては大変な職業だと思えてきました。夫の協力、期待しております(笑)。開業に際しては周囲の暖かいご指導とご支援に心から感謝しておりますと、お二人同時に。順調なスタートである。

◆ エナックや光重合はユニットから離れていると移動がつい面倒になりますが、△フライン△は総て内蔵されています。加えてスッキリとシンプルなデザインで、見た途端に好きになってしまいました。



SMILY Fine L型

製造承認番号01B第0296号